

## 会 議 録

1 会議名

令和3年度 第2回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和3年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

令和3年5月27日（木） 午後6時15分から午後8時40分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）  
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荏戸 正、平田 清、平田伸一  
山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者なし）

- ・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

8 発言の内容

**【五十嵐主任】**

- ・12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

**【竹内会長】**

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：小山委員、荏戸委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・資料により説明

**【竹内会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

一次第3議題（1）令和3年度地域活動支援事業について—

**【竹内会長】**

次第3議題（1）「令和3年度地域活動支援事業について」に入る。

本日は提案があった8事業について、事業提案者からの事業説明と質疑応答のあと、審査・採点と採択を実施する。

正副会長は審査に加わるため、事務局が会の進行を行うこととしてよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

**【堀川センター長】**

- ・提案事業8件、補助金希望額合計353万9千円
- ・三郷区予算配分額490万円の枠内

審査の流れは、1事業当たり提案者による事業説明を5分以内、質疑応答を7分以内で行ったあと、委員による基本審査を1分間で行う。ここでいったん集計し、委員の過半数が「適合しない」と判断した事業は、基本審査で終了となり、不採択となる。委員の半数以上が「適合する」と判断した事業は、引き続き優先採択審査・共通審査を2分間で行う。

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

審査を始める。

整理No.1「西松野木町内安全・防災対策事業」について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【平田伸一委員】**

消火器を3個まとめて町内会館に保管するということであるが、消火器は火事の時に必要になると思う。大きい町内でもあることから分散配置した方がいいと思う。あるいは消防器具置き場に置いてはどうか。そうなる管理上の問題もあると思うがどう考えているか。

**【提案者】**

消火器3本のうち2本は、町内会館の屋外に、誰でも持ち出しができるような場所に配置をしたいと考えている。1本は町内会館の内部に設置したいと思っている。分散配置という考えもあるが、いざ持ち出すことになると盗難とか保管管理の問題があるので一応町内会館ということで皆さんに周知したいと思う。

**【竹内会長】**

新設する予定地の土地所有者との協議は終わっていると思うが、借地料等の検討はしているか。

**【提案者】**

町内には、合計35基の防犯灯があるが数十個は民地の中にある。これはあくまでも皆さんの安全安心のための事業であり、それを確保することにつながるので、敷地料等については支払っていない。今後も支払う考えはない。

**【平田伸一委員】**

テントは、1張りで大丈夫なのか。

**【提案者】**

たくさんの方がテントに入るわけではない。最低限の1つでよいと考えている。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.1の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.1 「西松野木町内安全・防災対策事業」の審査・採点を終了。

整理No.2 「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【吉田委員】**

地中レーダー探査を行っているが、今後も三郷区の圃場整備が予定されている。その圃場整備への影響はあるか。

**【提案者】**

今後の詳しい話は、まだ正式には聞いていないが、調査の結果を綿密に、書面等いろいろな形で残しながら埋め戻す予定である。農業をするのに差し支えないと聞いている。まだそこまでの段階に至っていない。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.2の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.2 「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」の審査・採点を終了。

整理No.3 「三郷区高齢者支援・交流事業（「買い物ツアー」の実施）」について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【市村委員】**

このバスのツアーが広く認知されて、想定以上の参加希望者になった場合どのように対応するのか。提案内容では25人を定員としているが、30人とか35人になった場合はどうするのか。

**【提案者】**

そうならばもう少し大きなバスにするしかないと思う。補助希望額以上の予算が必要になった場合、まちづくり振興会の予算の中から充当するしかないと思っている。

**【渡部委員】**

マイクロバスを使って25人となっているが、今のコロナ禍における対応としてどうか。

**【提案者】**

マイクロバスとなっているが、一応見積りの中では中型バスを予定しており、概ね40人まで乗れる。40人が乗ると密になるので、募集しても30人程度になるのではないかと思っている。

**【保坂副会長】**

昨年度の事業報告では、参加人数が少なかったという話であった。今年度の募集では、人数を増やすためどんな工夫を考えているのか。

**【提案者】**

増やす方法としては、町内会を通じた回覧で募っていきたいと思っている。例えば実施日に通院の予約が入っているという方も多々ある。そのため、早めに周知徹底する形で立案しながら進めいきたいと考えている。

**【伊藤副会長】**

マイクロバス25人乗りで、参加者負担金が27人分となっている。付き添いの方が2人になるのか。

**【提案者】**

中型バスで行くことになれば付き添いの方もプラスアルファできるのではないかと考えている。

**【伊藤副会長】**

高齢者25人となると、結構な人数になる。実施される際は、付き添いの方の人数も増やしてもらいたいと思う。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.3の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.3「三郷区高齢者支援・交流事業（「買い物ツアー」の実施）」の審査・採点を終了。

整理No.4「三郷小児利用時の安全確保・見守り事業」について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【山口委員】**

この道路を利用している団体、利用者と共同で整備することは考えたのか。

**【提案者①】**

一部は昔の赤道であり、公道という形になろうかと思う。そうすると長者町の皆さんも利用することもあると思う。

**【山口委員】**

それを踏まえて、長者町の長年の問題でもあったと思う。そういうことは、地元

と話をしたのか。

**【提案者①】**

例えば、その赤道には地権者もいることになるが、それは長者町の皆さんとの協議の中で一応問題ないということであった。それは了解されていると聞いている。

**【提案者②】**

児童がマラソン大会やその練習、ほかに学校で下の田んぼへ降りることが結構ある。その道はもともと砂利道で少し狭い坂道になっている。特に雨の日など、天候の悪かった後になると荒れて、子どもが通る時は非常に危険だということで、以前から口頭で学校から、その時は後援会の皆さんから見守りをしていただけないかと言われていた。もちろんその道は、昔から町内で管理でしている。軽トラックが通ることもあるが、その児童の使用を優先的に考えた場合、できればその砂利道を舗装する形にしたいと考えた。そこで問題になったのは、その道の登記の関係であった。その辺が事務局に提案した時に問題になった。しかし長者町からの使用承諾があればいいということになったので、その問題は解決している。

**【山口委員】**

提案書を見て事前に現地も確認したが、一言で言うと非常に悩ましいというのが本音である。当然その場所については長年の蓄積されてきた課題だと思う。今のプレゼンテーションを聞いていたら、優先して採択する事業の「安全・安心な地域づくりに関する事業」の「地域内の危険個所の排除に関する事業」という考えで進めて行ったらどうかと思った。そうしないと、ある一面では小学校の生徒は学校田に行く時に、非常に足元が不安定だから整備するとなる。また、ある一面では赤道であるため、長者町の方々が利用する利便性も出てくることになる。それと費用面では、いろんな補助があると思うが両方タイアップできないのかと思う。

**【提案者①】**

そのようにしていきたいと思う。

**【平田伸一委員】**

農道だけれども赤道なので、現実的には町内会が管理しているということでのいいか。

**【提案者①】**

そのとおりである。

**【平田伸一委員】**

支出の方でポンプ車の費用が書いてあるが、ポンプ車を買うとかリースする経費ではないのか。

**【提案者②】**

コンクリートの打ち込みや運搬など、工事に要する費用の一部である。ポンプ車はコンクリートを圧送するための車かと思う。

**【渡部委員】**

一つ補足する。私も長者町の住民であるが、この小学校は防災拠点としてあるわけで、その防災拠点の施設の周囲に砂利道はないと思う。他の施設にはない。そういう点で、あそこは雨が降ると川になってしまうような大変危険なところである。そういう面において、舗装をしてもよいと思う。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.4の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.4「三郷小児童利用時の安全確保・見守り事業」の審査・採点を終了。

整理No.5「三郷のあゆみ」編集事業について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【渡部委員】**

それは何ページぐらいの冊子になるのか。

**【提案者】**

104ページになる予定である。内容は、三郷の古代、沿革史、生活と環境、産業、教育、寺と神社と文化財、災害、人口・世帯数、三郷あれこれである。三郷あれこれのところで、三郷地区の歴史・史跡を研究する会が今までやってこられたこととか、駐在所の件についてもまとめておきたいと思う。寄稿いただいた部分については、内容によってそれぞれの分野に入れたいと思う。

**【渡部委員】**

内容的には、農業とかいろいろな方面があると思うが、どのぐらいの方にその原稿をお願いしているのか。

**【提案者】**

寄稿については5人、三郷地区の歴史・史跡を研究する会の横尾さんを含めると6人になる。あとの分野については、編集委員の方で全部分担した。専門家がやるわけではないので、ハイレベルなものではない。でも、一生懸命やって今の三郷の置かれている内容・実態をまとめておきたいと思う。ただ、まとめた時に文字がたくさんになると皆さんにお渡ししたときに読んでもらえないので、できるだけ写真とか図だとかを入れて、わかりやすくまとめていきたいと思っている。大分原稿はできている。だから、ぱっと見てもらえるような作りにしたいと思っている。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.5の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.5 「三郷のあゆみ」編集事業」の審査・採点を終了。

整理No.6 「三郷楽しい健康体操事業」について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・ 事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【伊藤光夫委員】**

今、提案者から大変効果が出ているという説明があった。ぜひ、三郷地区の皆さんに、チラシ等や有線放送でPRをしてもらいたい。今の説明の通り継続して実施していただければと思う。補助額の中にはそういう作成費についても、かかったら入れていただいでぜひ継続してもらいたい。

**【提案者】**

やはりコロナ禍の影響で、正直怖いという意見もあるので有線放送のページング放送もしていない。チラシも区長さんをお願いして、1回、回覧してもらった。これから予防接種等も始まるので、安心してできるような形をとりたい。また気分転換にもなると思うので、この場所でこういうことをやっているということは周知したい。予防接種が終わったらページング放送をさせてもらいたい。

**【平田伸一委員】**

この体操は、大変効果があるという説明であった。この募集方法について、町内会の回覧はすぐに見て終わってしまう。やはり全戸配布みたいな形できっちり周知した方がいいと思う。その辺、工夫してはどうか。それから健康教室の中で、料理教室を7回実施することになっている。料理教室は午前中に料理教室、午後に体操教室を実施するのか。全く別の日に設定するのか。

**【提案者】**

講師の都合があるので料理の先生は水曜日、体操教室の先生は月曜日となっていて、その曜日だけは変更できない。

**【平田伸一委員】**

次に審査する「三郷料理教室」との関連性はどうか。

**【提案者】**

「三郷料理教室」の方は、有志の方々の集まりであり、80歳近くの方から50

歳、60歳ちょっと方々で、自分が十八番だと思っているものを料理する。そして自分が習いたいもの、例えば、ちまきの巻き方とか笹団子の作り方みたいなものを教わりたいということで実施している。

**【平田伸一委員】**

「楽しい健康体操教室事業」の方は講師をお招きして、いろいろな健康に関わる食事の作り方とか、内容について勉強している。それから「三郷料理教室事業」の方はあくまでも自主グループとしての運営でいいか。だから講師はいないというか。

**【提案者】**

その通り。

**【渡部委員】**

ここの三郷地区公民館には定員がある。たくさん来られても困るのではないか。その辺はどう考えているのか。

**【提案者】**

今は本当に少人数で行っているなのでこの場所でできるが、もし大勢になった場合は別の場所になる。小学校の体育館とか、空いている時間帯に入れていただくような感じになると思う。今のところは、ここの場所でできる人数である。

**【渡部委員】**

人数によって場所が変わるということによいか。人数が多くなれば、大きいところで実施する。そうなれば調理の方も2回とかに分けるのか。

**【提案者】**

そうなると調理の方は、一旦この料理をするときは周りで見学してもらって、次の料理になったら調理するというように、交互に行えるような感じになると思う。

**【市村委員。】**

事業の対象者について、若者から高齢者までとなっているが体操の方は第2月曜日となっている。休日であれば若者たちも参加できると思うが、平日だと難しいと思う。料理教室も水曜日となっている。若者のどこまでを対象として考えているのか。仕事を持っていたり学生だったりすると、なかなか参加は難しいと思う。あと料理教室について、支出に講師料だけしか書かれていない。食材等はどうするのか。

**【提案者】**

料理については、先生にお任せしていて当日に何を作るのか、私達は一切知らされてない状況である。材料費は、人数割りをしている。あと若い方の参加については、いろいろと声かけをしているが、まだ子どもが小さいとかいろいろな事情がある。私たちが作ったものはレシピを書いて三郷地区公民館にある程度の部数を置いて、来られた方が自由に持っていけるようにしたいと考えている。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

整理No.6の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.6「三郷楽しい健康体操事業」の審査・採点を終了。

整理No.7「三郷料理教室事業」について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【渡部委員】**

クッキングスケールは何キロまで計測できるものか。

**【提案者】**

2キロまでである。パウンドケーキを作った時、全部ガラスの器で調理するため、余りにも重すぎてエラーになってしまう。

**【渡部委員】**

ハンドミキサーとブレンダーの違いを教えてください。

**【提案者】**

ブレンダーは、泡だて器とか潰すのとか、いろいろなものを取り付けられるよう

になっている。私たちが求めるものは5品くらい使えるもので、潰す、混ぜるなど、一台で全部をこなしてくれるタイプである。そうするとフードプロセッサーもいらなくなる。だから2種類のものを買うよりは、1台でそのパーツを取りつけられればできるようになる。もう一段上の機種があるが、そこまではプロの方でないと無理じゃないかと思いワンランク下にした。

**【市村委員】**

料理教室で良い道具を使った際に、自宅に帰ってもその道具を使ったような料理ができるのか。

**【提案者】**

正直できない。一応ここで作ったものは全部持ち帰ることにして、ここではちょっとだけ試食する程度である。

**【平田伸一委員】**

収入の部を見ると5人分と書いてある。対象者として若者から高齢者までどなたでも参加いただけるように声掛けをしていくとなっている。具体的に募集方法はどうかやっているのか。開催日時について、平日の午前中となると参加できる人が限定されてしまう気がする。その辺はどう考えるのか。

**【提案者】**

参加者の中にはお勤めの方もいる。例えば、今回5月に開催すると、6月はその方のお休みの日に合わせるような格好で次回の開催日を決めたい。周知方法は、皆さんにとりあえずお声掛けして、今コロナ禍の影響があるのでその辺は予防接種云々が全部終わった段階で、またページング放送なりでお声がけを地区全部にしたいと考えている。

**【平田伸一委員】**

調理器具も、だんだんと整備されてきてやりやすい環境になってきている。そういうことであれば仲間内だけでなく、もう少し広げていってもらいたい。地域の交流にもっと貢献していけると思うので、もう少しその辺の声掛けができるような形になればと希望する。

**【提案者】**

ご近所で若い方には、公民館にオープンを入れました。何かあれば自由に使ってくださいという形で話をしている。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.7の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.7「三郷料理教室事業」の審査・採点を終了。

整理No.8「さんごう仲間づくり事業」について、事業提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【渡部委員】**

この間、フリーマーケットのチラシが入ってきていいなと思った。この活動に参加する場合、事前に連絡する必要はないのか。

**【提案者】**

参加は自由である。出店する人も、その日突然やってくる。もちろんそれを見に来る方も、自由に出入りできる。

**【渡部委員】**

夏っ子クラブは、実施しないということだが、以前孫が世話になった時に、子どもを預けるところじゃないと言われたことがあった。スタッフの方からそのようなことを言われた時、疑問に思ったことがあった。それはボランティアが理由かもしれない。ボランティアを募っていると思うがここが明確じゃなくて、もしこのスタッフ13人でできないのであれば、事前に協力して欲しい旨を言ってもらってもいい

いのではないか。今回はそういう場所ではないかもしれないが、少し気になった。

**【提案者】**

今までやってきた夏っ子クラブは、基本的に地域で子どもを見守ろうというのがもともとの趣旨である。それぞれ通ってくる子どもについては、親がそこに連れて行って預ければいいという考えでやってほしくなかった。仕事をしている方もいるので、ボランティアとして参加することができない方がたくさんいることはわかっていた。でもいろんな形で協力してもらおうことができるだろうと考えて、夏っ子クラブの説明会の時は、その辺をかなり注意深く保護者の方に説明した。みんなそれぞれ仕事を抱えて、休みを取ってそこに来る方がいたりそんな形でやっているの、安易に預かってもらえるというように思って欲しくなかった。本当は、ボランティアではなく、きちんとしたスタッフを用意できるような活動だったらよかったが、まだ私の方ではそんな力がなかったの、そのような形でやってきた。

これから夏に1回くらい、今までスペシャル企画として行って来たことができたらいいなと思っている。今回はものづくりになっているが、ゆくゆくはコロナ禍が落ち着いてきたらキャンプを計画するようなことを考えている。その際には、保護者も参加してもらってみんなで子どもを見守りながら、子どもたちの活動を豊かにしていけたらと考えている。

**【平田伸一委員】**

新聞を発行して、町内会の回覧でPRされている。お金がかかることかもしれないが、やっぱり全戸配布にした方が事業の内容をもっと浸透させられるのではないかと思う。当然お金もかかる話で、難しいかもしれない。印刷の枚数を増やして全戸配布なら400枚くらいあれば、全町内に配布できると思う。是非そのようなやり方でもっと活動が充実すればと思っている。

**【提案者】**

今年は予算がないが、来年以降検討していきたいと思う。

**【平田伸一委員】**

収入の部に参加費等が記載されている。それぞれ事業によって参加費も異なってくると思うが、大体どのくらいなのか。トータルで5,060円になっているが、

その内訳について教えてもらいたい。

**【提案者】**

夏っ子クラブでは1人200円ぐらい。フラダンスでは1人100円、笹団子作り100円、お花のアレンジは1,000円と考えている。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.8の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.8「さんごう仲間づくり事業」の審査・採点を終了。

これより事務局で集計を行うため、10分間の休憩とする。

— 休憩 —

**【堀川センター長】**

会議を再開する。

審査・採点結果について説明。

- ・基本審査で「適合しない」が過半数となった事業：なし
- ・優先採択審査で「該当しない」が過半数となった事業：なし
- ・共通審査の得点が多い順に順位付け

1位 整理No.3 三郷区高齢者支援・交流事業（「買い物ツアー」の実施） 245点

1位 整理No.5 「三郷のあゆみ」編集事業 245点

3位 整理No.1 西松野木町内安全・防災対策事業 237点

4位 整理No.8 さんごう仲間づくり事業 235点

- 5位 整理No.2 三郷地区の歴史・史跡を研究する事業 234点
- 6位 整理No.4 三郷小児童利用時の安全確保・見守り事業 227点
- 7位 整理No.6 三郷楽しい健康体操事業 224点
- 8位 整理No.7 三郷料理教室事業 205点

・補助金配分額の案は補助希望金額のとおり

竹内会長に採択事業の検討について進行を求める。

#### 【竹内会長】

審査の結果に基づき、採択事業の検討を始める。

採択する事業と補助金額の決定を行う。

今年度の提案状況として、補助希望額の合計が予算額を下回っていることから、採点順位1位から8位までを採択事業と決定する。また、各事業、補助希望額どおり採択したいと思うが、満額補助でよいか意見のある委員の発言を求めるがなし。

全ての事業を補助希望額どおり採択することを諮り、委員全員の了承を得る。

附帯意見について、意見のある委員の発言を求める。

#### 【市村委員】

整理No.4の「三郷小児童利用時の安全確保・見守り事業」について、今回コンクリート舗装する場所が、渡部委員によると雨が降ると川になるほどひどいという話である。排水を考慮した施工をお願いしたい。

#### 【竹内会長】

結構勾配があるので、両サイドに水が流れて表面の水が真ん中を走らないようなことを考慮してもらってはどうかという意見である。他には、去年も附帯意見を付けたが、コロナウイルス感染症対策について十分考慮するようなことも、当然必要なことだと感じている。その辺もまた付け加えていきたいと思っている。

市村委員からの意見とコロナ禍の関係の意見を附帯意見としてよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

また、附帯意見の文案は正副会長に一任することで委員の了承を得る。

次に、今ほどの採択結果により三郷区では490万円の予算に対して、残額が136万1千円となった。追加募集を行うかどうか、意見のある委員の発言を求める

がなし。

追加募集について、採決してよいかを諮り委員の了承を得る。

採決の結果、賛成多数で追加募集を行うことに決する。

募集期間について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・ 募集要項は、当初の内容と同じとする。
- ・ 追加募集の周知は、6月25日号の広報上越に合わせて発行する三郷区地域協議会だよりで全戸配布する。
- ・ 募集期間は、7月5日月曜日から7月26日月曜日の20日間。
- ・ 審査採扱は、正副会長案として8月10日火曜日の地域協議会で行う。

**【竹内会長】**

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

以上で、次第3、議題(1)令和3年度地域活動支援事業についてを終了する。

続いて、前回の地域協議会の中で、自主的審議事項の班編成について希望を伺った。そして次回の会議で班編成を発表することになっていたのが本日発表する。春駒班は、伊藤副会長を班長に、小山委員、平田伸一委員、渡部委員、竹内の5人とする。公民館班は、保坂副会長を班長に、市村委員、伊藤光男委員、荻戸委員、平田清委員、山口委員、吉田委員の7人とする。

この件について、質疑を求めるがなし。

班編成でよいかを諮り委員の了承を得る。

それでは次回からこの形で自主的審議事項について議論を進めていく。

— 次第4 事務連絡 —

**【竹内会長】**

次第4 事務連絡について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・ 次回会議：6月28日(月) 午後6時30分から 三郷地区公民館

- ・当日配布資料
  - ・勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金の活用に関する意見書（中郷区地域協議会）
  - ・主要事業・プロジェクトの概要（企画政策課）
  - ・男女共同参画推進センター講座のお知らせ2種類
  - ・まちづくり市民大学OB会からのチラシ

【竹内会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。